



NICHIBAN

ぴったり技術で
明日をつくる



サステナビリティレポート2020

NICHIBAN SUSTAINABILITY REPORT 2020

ニチバン株式会社

ぴったり技術で 明日をつくる

ニチバングループの強みである粘着技術を活かして、
将来にわたって快適で健康な生活に貢献していくという
企業姿勢を表現しています。

ニチバングループの理念

[創業の精神]

和親協力・進取向上

[基本理念]

私たちは絆を大切にニチバングループにかかわる
すべての人々の幸せを実現します

[企業姿勢]

粘着の分野を原点として新たな価値を創造する技術で
快適な生活に貢献し続けます

[行動指針]

■ 社会

誠意をもって誰にでも誇れる仕事をしよう

■ お客様

お客様にとっての「良いもの」を届けよう

■ チャレンジ

失敗を恐れずまずやってみよう

■ スピード

スピーディーに行動し時代を先取りしよう

■ チームワーク

組織を超えて協力し最後までやり遂げよう

会社概要 (2020年3月31日現在)

■ 商号	ニチバン株式会社
■ 創業	1918(大正7)年1月
■ 本社所在地	〒112-8663 東京都文京区関口二丁目3番3号 TEL.03-5978-5601
■ 代表者	代表取締役社長 高津 敏明
■ 資本金	54.51億円
■ 売上高	440.63億円(連結)
■ 従業員数	1,266名(連結)
■ 株主数	7,611名
■ グループ会社	ニチバンプリント株式会社 ニチバンテクノ株式会社 ニチバンメディカル株式会社 NICHIBAN(THAILAND)CO., LTD.
■ 関連会社	UNION THAI-NICHIBAN CO., LTD. 大東化工株式会社 株式会社飯洋化工



代表取締役社長

高津敏明

Top message

進化・変革をし続けられる ニチバングループであるために。

2019年度を振り返って

ニチバングループでは、「快適な生活を支える価値を創出し続け、グローバルに貢献する企業へ!」と掲げた『NICHIBAN GROUP 2030 VISION』を策定し、2019年度より、ビジョン実現の礎となる5か年の新中期経営計画【ISHIZUE 2023 ~SHINKA・変革~】を推進しています。初年度となる2019年度の事業環境は、非常に厳しいものとなりました。メディカル事業では、日韓関係の悪化によりインバウンドの6割を占めていた韓国からの訪日客が減ったことから、「ロイヒつぼ膏TM」の売上が大きく減少しました。これに対し、日本国内での需要喚起策などで状況の打開を図った結果、国内売上は増加、加えて「ケアリーヴTM」の

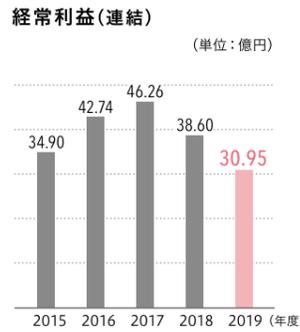
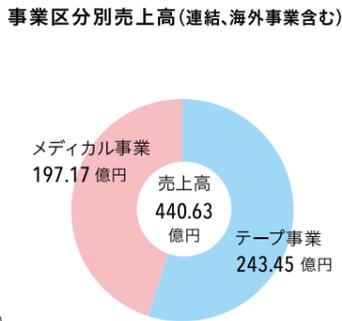
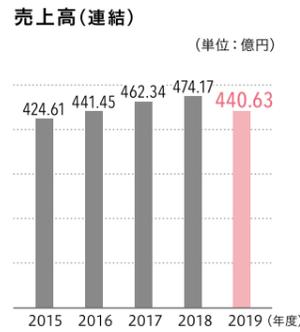
売上伸長という後押しがあったものの、インバウンド需要減を補うまでには届かず、ヘルスケアフィールドは減収減益となりました。医療材フィールドでは新製品を多数上市し、「アトファインTM」なども含めて好評価をいただくことができました。しかしながら、医療費削減などの影響から微減収となりました。

テープ事業のオフィスホームフィールドは、消費税増税による消費マインドの低下から減収となったものの、2018年下期から行ってきた「セロテープ[®]」や「ナイスタックTM」の価格改定などを含めた取り組みにより、増益で終えることができました。工業品フィールドにおいては、米中貿易摩擦から中国向け製品が伸び悩んだこと、また台風などの自然災害によって農作物の収穫に影響が出たことなどから、減収減益となりました。

海外展開としては、欧州での和紙マスキングテープ、韓国での「ケアリーヴTM」など、新規市場を開拓できた一方で、従来の自動車産業向け事業が伸び悩み、売上・利益ともに横ばいで推移しました。

この1年は抗えない外部要因がある中で、今一度、当社

編集方針:本報告書は、ニチバングループの活動の結果をご報告し、より多くの方々にニチバンの事業活動を知っていただくことを目的に発行しています。
報告対象組織:ニチバン株式会社/ニチバンプリント株式会社/ニチバンテクノ株式会社/ニチバンメディカル株式会社
報告対象期間:2019年度(2019年4月1日から2020年3月31日まで)の活動を中心に、それ以前からの取り組みや、直近の報告も含んでいます。
報告対象分野:環境・社会・経済的側面
参考にしたガイドライン:環境省『環境報告ガイドライン(2018年版)』
発行:2020年9月



ニチバングループのサステナビリティ重要テーマ

ニチバングループでは「サステナビリティ重要テーマ」を策定し、持続可能な社会の実現に向け、さまざまな取り組みを推進しています。当社グループは世界共通の目標であるSDGsに賛同し、重要テーマにおいても関連するSDGsターゲットを明確にしています。

グループの事業のあり方を見直す期間となりました。新中計の核となる「進化・変革」を遂げていくために必要なことを、すべての社員が真に考えるチャンスを得たとも捉えています。2019年度は、新たに策定したグループ統一の理念を社員一人ひとりに理解・浸透させることを目指し、すべての事業所において少人数での直接対話を行いました。また、各部門でも理念や行動指針の浸透に向けた活動が行われており、全社をあげて新中計の目標達成に向かう基盤ができあがったと感じています。2020年度以降は、理念や行動指針の「自分ごと化」を強化し、成果を生み出す段階に入りたいと考えています。

この動きにあわせ、2020年4月に大規模な組織改革を行いました。従来の事業本部制に加え、研究開発、生産、営業などの機能別に組織を構築し、縦軸と横軸をマトリクス的にあわせ持つ体制としています。これにより、生産体制の効率化や重点研究テーマへの資源配分等、グループでの全体最適を図っていく計画です。

SDGsへの貢献を目指し、「サステナビリティ重要テーマ」を策定

ニチバングループの事業と社会・環境課題を明確に関連づけ、SDGs(持続可能な開発目標)に貢献することを目指した「サステナビリティ重要テーマ」を、2019年度に策定しました。「ニチバンだからこそ」の視点で、本業にかかわる4つの重要テーマを特定しています。発売から70年、変わらず天然素材を主原料としてきた「セロテープ®」は、脱プラスチックやCO₂削減に寄与できます。絆創膏や止血製品による感染予防、貼り薬を通じた医療への貢献、食品ロス削減に向けた活動も含め、これまで行ってきた当社グループの事業は、世の中への貢献につながっています。この「サステナビリティ重要テーマ」を起点に、まずは社員一人ひとりがサステナビリティ

を自らの仕事と結びつけるためのきっかけづくりをしていきます。その先に、世界の課題解決につながる新たな事業・製品が生まれ、当社グループのサステナビリティへの取り組みがますます前進していくことを期待しています。

変わる社会に即応しながら、ビジョン実現に向け歩み続ける

新型コロナウイルスの感染拡大は、当社グループの事業運営にも変化をもたらしました。社員の健康を最優先に、緊急事態宣言発令前から時差出勤や在宅勤務を導入して出勤率を5割におさえ、発令後は2割出勤へと移行しました。お客様相談室も在宅での電話対応とし、お客さまにご不便をおかけしないような体制を整えています。また生産工場においても、時間差での昼休憩などを徹底するとともに、万が一感染者が出た場合にも操業を止めることがないよう、人員配置や稼働機械のシミュレーションを行っています。物流関係も含めて、現在のところサプライチェーンに影響はなく、メーカーとしての供給責任を果たすことができます。引き続き、世の動向を注視しながら、適時適切な対応をとっていきます。

今後、この感染症がどのような影響をもたらすのかは予測できません。しかし間違いなく言えるのは、今までの常識が常識ではなくなり、さまざまな価値観も含めて変化を余儀なくされるということです。多くの痛みをともなっている感染拡大ですが、別の見方をすれば、大胆な変革を実行できるチャンスでもあります。国内での働き方はもちろん、グローバルでの事業のありようも変わってくるでしょう。withコロナの状況下において、afterコロナを見据えながら、まずは新中計の目標達成に邁進します。そして中長期的には、2030年ビジョンを実現することを目指し、確固たる芯を持ちながらも変化に即応できるニチバングループをつくりあげていきます。

本業の重要テーマ

関連するSDGs	重要テーマ	主な取り組み	関連するSDGsターゲット	取り組み事例紹介
3, 9, 12, 13, 14	セロテープ。が天然素材由来の製品であることによる環境課題への貢献	主な原料が天然素材であり、バイオマークを取得した、環境にやさしい循環型のエコロジー製品であることを訴求し、プラスチックフィルムなどを利用したテープとの差別化を実現	9.4, 12.2, 13.2, 14.1	P.7
3, 9, 12, 13, 14	絆創膏や止血製品、ドレッシング材による感染予防への貢献	感染予防に向けた止血製品の啓発活動	3.3	P.7
3, 9, 12, 13, 14	貼り薬を通じた医療への貢献	新たな貼り薬を開発し、疾病の治療や健康な生活の維持に貢献	3.4	P.8
3, 9, 12, 13, 14	粘着テープの使用による家庭系食品ロス削減に貢献	食品の袋の封止めだけでなく、食材の購入日や調理日、消費期限などをテープに記入し、ラベルとして使用することで、食品ロス防止を提案	12.3	P.8

ESGの重要テーマ

関連するSDGs	重要テーマ	主な取り組み	関連するSDGsターゲット	取り組み事例紹介
6, 7, 8, 9, 10, 11, 12, 13, 14, 15	環境配慮製品の開発	環境・社会課題の解決に貢献する製品開発 環境ラベルの取得	12.5, 12.5	P.10
6, 7, 8, 9, 10, 11, 12, 13, 14, 15	環境負荷の低減	環境マネジメントシステムの運用 環境情報の開示	12.6, 12.6	
6, 7, 8, 9, 10, 11, 12, 13, 14, 15	・資源の枯渇への配慮	原材料の有効活用による廃棄物の削減 水の効率的利用および廃水処理の管理向上	11.6, 12.5, 6.3, 6.4, 14.1, 14.3	P.9
6, 7, 8, 9, 10, 11, 12, 13, 14, 15	・気候変動・地球温暖化対策	エネルギー利用の効率化によるCO ₂ 排出量の削減	7.3, 13.3	P.9
6, 7, 8, 9, 10, 11, 12, 13, 14, 15	・化学物質の適正な管理	原材料のグリーン調達推進 新技術の創出による溶剤使用量の削減	8.4, 12.2, 6.3, 11.6, 12.4	P.9
6, 7, 8, 9, 10, 11, 12, 13, 14, 15	生物多様性保全	巻心ECOプロジェクトの植樹活動 小学校への出前授業による啓蒙活動	6.6, 15.2, 15.3, 13.3	P.10
4, 5, 8, 10, 11	製品の品質向上と安全の確保	品質マネジメントシステムの運用 顧客満足の向上	—	P.10
4, 5, 8, 10, 11	ダイバーシティ推進と人材育成	女性活躍と障がい者雇用の推進 将来の持続的成長を担う人材育成	5.1, 5.5, 8.5, 8.8, 10.2, 10.3, 4.4, 4.5, 10.2	P.12, P.12
4, 5, 8, 10, 11	労働安全衛生と社員の健康への対応	次世代認定マーク取得による行動計画の推進 従業員の健康管理	8.5, 10.3, 8.5, 8.8	P.13, P.13
4, 5, 8, 10, 11	地域・社会への貢献	事業所周辺地域とのコミュニケーション活動 障がい者支援	—, 8.5	P.14, P.14
9, 16	コーポレート・ガバナンス	内部統制システムの整備	—	P.11
9, 16	コンプライアンス	コンプライアンスの浸透(行動ハンドブックによる教育) 内部通報窓口の充実	16.1, 16.5	P.11
9, 16	リスクマネジメント	緊急時対応訓練の実施 BCP・BCMによる安定供給体制の整備	9.2, 9.2	P.11
9, 16	情報セキュリティ	IT統制の整備	—	P.11

ニチバングループのバリューチェーンにおけるSDGsマッピング

ニチバングループでは、中長期ビジョン『NICHIBAN GROUP 2030 VISION』を掲げています。その実現の礎となる中期経営計画【ISHIZUE 2023 ~SHINKA・変革~】においても、すべての事業活動で「サステナビリティ重要テーマ」と紐づけた取り組みを推進しています。

中期経営計画【ISHIZUE 2023 ~SHINKA・変革~】

将来の持続的成長を担う人財育成

中長期成長エンジンの確立、イノベーション創出

本業の重要テーマ

取り組み事例

P.7-8



ゼロテープが天然素材由来の製品であることによる環境課題への貢献



・絆創膏や止血製品、ドレッシング材による感染予防への貢献
・貼り薬を通じた医療への貢献
・粘着テープの使用による家庭系食品ロス削減に貢献

・原材料
・サプライヤー
・調達物流



化学物質の適正な管理



生物多様性保全



製品製造 (操業)



・製品の品質向上と安全の確保
・資源枯渇への配慮
・気候変動・地球温暖化対策



販売



製品の使用



・環境配慮製品の開発
・環境負荷の低減
・気候変動・地球温暖化対策



製品の廃棄



「巻心ECOプロジェクト」による巻心回収で資源として再利用

環境負荷の低減



[中長期ビジョン]
NICHIBAN GROUP 2030 VISION
快適な生活を
支える価値を
創出し続け、
グローバルに
貢献する企業へ!

事業戦略推進に向けた AI・IoTの積極活用

事業推進体制の見直しと収益改革

グローバル市場へのスピーディーな展開・拡大

バリューチェーンを支える重要テーマ

取り組み事例

P.11-14

コーポレートガバナンス

コンプライアンス



リスクマネジメント



情報セキュリティ

ダイバーシティ推進と人財育成

労働安全衛生

地域・社会への貢献



本業の重要テーマ

1 天然素材由来のセロテープ®で環境課題に貢献

「セロテープ®」は、1948年の発売当初から一貫して主な原料に天然素材を使用しています。セロハンの原料は木材パルプ、粘着剤は天然ゴムや天然樹脂が主成分で、巻心は再生紙です。日本を含め多くの国では、セロハンに比べて強度や防水性の高いプラスチックフィルムを利用したOPPの粘着テープが販売されていますが、これらは化石資源を原料としていることに加え、焼却時の新規のCO₂や有害ガス発生の問題を抱えています。一方、カーボンニュートラル[※]な素材である「セロテープ®」は、OPPの粘着テープと比較して、焼却時のCO₂排出量を約7分の1に抑えることができます。

環境にやさしい循環型のエコロジー製品であり、脱プラスチックに貢献できる「セロテープ®」は、一般社団法人ソーシャルプロダクツ普及推進協会が主催する「ソーシャルプロダクツ・アワード2020」において、大賞を受賞しました。

※樹木は成長過程で二酸化炭素を吸収して酸素を排出するため、焼却廃棄時に大気中のCO₂増減に影響を与えないという考え方。

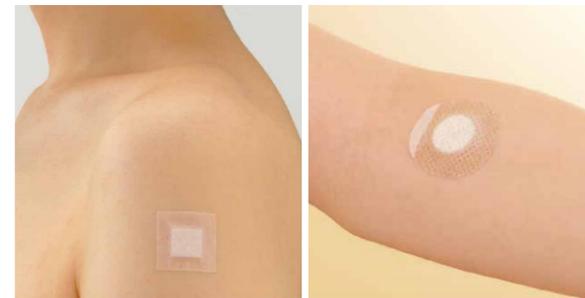


「セロテープ®」の主な原料

2 製品を通じた感染予防への貢献

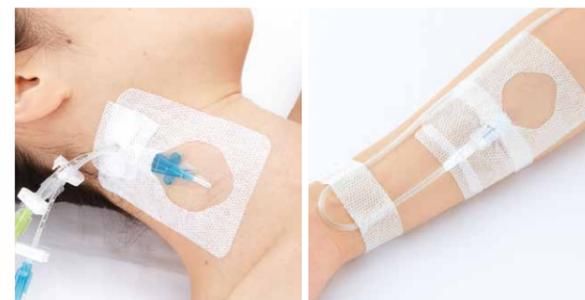
注射や採血後の被覆保護や静脈ラインの圧迫止血など、用途に応じた感染予防製品として、穿刺部被覆保護用絆創膏「セサブリックTM」シリーズをご提供しています。当シリーズは、処置に要する煩雑さの解消や、血液による汚染を防止します。

また「カテリープラスTM」シリーズは、業界で初めてウレタンジェル粘着剤を採用した、透湿性の高いフィルムドレッシング材です。カテーテル関連血流感染における予防対策として、カテーテル挿入部位の定期的な観察と長期間の安定した固定性が求められています。これらにお応えする「カテリープラスTM」シリーズは、高い透湿性により長期間の固定性と皮膚へのやさしさを両立しています。厳重な管理が必要とされるICUなどの集中治療の現場や、化学療法室など皮膚の脆弱な患者さまが多い現場など、感染予防を必要とする数多くの医療現場でご使用いただいています。



ベージュ色で目立ちにくい「チューシャバンTM」

吸収性に優れたパッドを採用した「インジェクションパッド マイルド」



皮膚へのやさしさとがれにくさを両立した「カテリープラスTM」シリーズ

3 患者さまのQOL向上を目指して

手術後の傷は、皮膚が引っ張られることや衣類との摩擦などによる物理的な刺激から赤く盛り上がり、目立つ傷あとになることがあります。傷あとに悩む方を一人でも減らしたいとの思いから、手術後の傷あと専用テープ「アトファインTM」を開発しました。物理的な刺激から傷あとを保護する「アトファインTM」は、皮膚にやさしい粘着剤の採用により、はがす時の刺激を最小限にしています。また、角をなくしたウェーブ形状のテープは貼っていても違和感が少ないため、ケアが必要な期間、貼り続けることが可能です。これまで、帝王切開や乳がん手術をはじめ、外科手術を受けた多くの患者さまにお使いいただいています。今後も粘着技術を通じて、医療および患者さまのQOL向上に貢献していきます。



「アトファインTM」は傷あとにあわせて5つのサイズをラインアップ

4 家庭系食品ロスの削減に向けて

日本では、本来食べられるにもかかわらず捨てられる食品ロスが、年間で612万t発生しています。その内、食べ残しや過剰除去、直接廃棄などを原因とする家庭からの食品ロスは、284万tに上ります[※]。これらを減らすべく官民が連携して取り組む「食品ロス削減国民運動」にニチバンも賛同し、「ディアキチTM ワザアリTM テープ」の活用を広く提案しています。保存容器の中身や日付をテープに書き込み、ラベルとして使用することが、食材を使い切る・食べ切ることにつながることをより多くの皆さまへご紹介し、食品ロス削減に貢献していきます。

※総務省人口推計(平成29年10月1日)平成29年度食料需給表(確定値)より



テープに容器の中身や調理日を記し、「うっかり」ロスを防ぐ

本業にかかわる4つの重要テーマを軸に

ニチバングループでは、社員によるディスカッション、経営層や社外取締役、グループ会社社長へのヒアリングを経て、「サステナビリティ重要テーマ」を策定しました。その中で改めて見えてきたのは、当社グループのビジネス、つまり「本業」が持続可能な社会の実現に貢献できるということです。

主力製品である「セロテープ®」の原料は、天然素材が中心です。この特性をより強く訴求し、お客さまに「セロテープ®」を選択していただくことで、脱プラスチックを推進します。また、海外には感染に関する課題を抱えている国が多くあります。感染予防には適切な止血処置が重要であることを伝えながら、当社の止血絆創膏を提案することで、公衆衛生の向上に寄与したいと考えています。

国内では、高齢化が進む中で医療の充実が求められています。体に貼ったテープから薬を取り込む経皮吸収剤は、誤嚥や飲み忘れを防ぐことができ、患者さまのQOLの向上にも

つながります。これまで培ってきた粘着技術によって、この分野にも積極的に取り組んでいきます。日常生活においても、食品ロス削減に役立つ製品を提案することで、ゴミの削減や資源の有効活用への意識啓発に貢献していきます。

「サステナビリティ重要テーマ」の策定を機に、誠意と熱意を持って目の前の仕事に取り組むことが世界の課題解決につながることをすべての社員と共有しながら、事業活動を加速させていきます。

常務執行役員
経営企画室長 兼
広報宣伝部長
高橋 泰彦



バリューチェーン内の重要テーマ

原材料・サプライヤー・調達物流

原材料のグリーン調達の推進

ニチバングループでは、原材料に含まれる化学物質の管理について、独自のグリーン調達基準を設定し運用しています。2019年7月には「グリーン調達ガイドライン」[※]を制定、ホームページに公開し、サプライヤー(原材料メーカー)に向けて、より強くその必要性を訴え、協力を要請しています。環境問題への関心が高まる中、ますます厳しくなる国内外の含有化学物質規制を遵守するための情報収集に努め、最新規制に対応すべくグリーン調達基準を見直しています。お客さまからの含有化学物質調査のご依頼も年々増加しており、できる限りタイムリーな回答ができるよう社内の体制を整えています。

※「グリーン調達ガイドライン」

https://www.nichiban.co.jp/corp/sustainability/sustainability/green_procurement/

製品製造(操業)

エネルギー利用の効率化によるCO₂排出量の削減

ニチバングループは、CO₂排出量の削減に向け、エネルギー利用の効率化に取り組んでいます。各工場において、生産性の向上(高速化、歩留り改善)や省エネ設備の導入、徹底した空調管理など、製造工程の改善活動を推進しています。特にエネルギー消費の大きい粘着剤塗布後の乾燥工程については、その消費量を監視し、最小エネルギーでの運用に取り組んでいます。2019年度のCO₂排出量は生産22,520t-CO₂(前年度比91%)、物流2,555t-CO₂(前年度比75%)となりました。

水の効率的利用・廃水処理の管理向上

水は人間や動植物などのあらゆる生命の源であり、社会経済活動に欠かすことのできない最も基礎的な資源の一つです。この限りある水資源を守るべく、ニチバングループでも水使用量の削減と有効利用に取り組んでいます。冷却水の循環利用などの継続推進により、2019年度の水使用量は660千m³(前年度比98%)となりました。

「ニチバングループ環境方針」「行動指針」はホームページに掲載しています。

https://www.nichiban.co.jp/corp/sustainability/sustainability/environmental_policy/

その他の取り組み

環境マネジメント

https://www.nichiban.co.jp/corp/sustainability/environment/environmental_management/

廃棄物削減の取り組み

https://www.nichiban.co.jp/corp/sustainability/environment/waste_reduction/

溶剤使用量削減の取り組み

有機溶剤を使用しない製法を検討するプロジェクトを、2018年度よりスタートさせています。本プロジェクトでは、糊を熱で溶かして粘着テープを製造する「無溶剤ホットメルト塗工方式」や、水を使用する「エマルジョン粘着剤」の技術開発を進めるとともに、環境負荷低減効果の検証を行っています。引き続き、全社をあげて「脱溶剤」を推進していきます。

製品の品質向上と安全の確保

「ニチバングループ品質方針」[※]のもと、品質リスクを排除するための体制強化を推進しています。製品の開発、設計、製造段階で、不具合の発生を未然に防ぐ仕組みを構築し、継続的に強化しています。また、万が一不具合が発生した場合には、原因を研究し、徹底した再発防止に努めています。安全でご満足いただける製品を提供するには、お客さま視点が必要という考えのもと、生産部門全体で改善活動に取り組んでいます。

※「ニチバングループ品質方針」・品質マネジメントシステム

https://www.nichiban.co.jp/corp/sustainability/sustainability/quality_guarantee/

販売・製品の使用

環境配慮製品の開発

弁当や惣菜などの食品容器の蓋固定、食品容器への調味料などの添付固定、再貼りつけを用途とする「フードパッキングテープTM」を販売しています。「フードパッキングテープTM」には、木材パルプを原料とするセロハン基材、天然ゴムや天然樹脂を主成分とするゴム系粘着剤、再生紙を用いた巻心など、天然素材を使用しています。石油由来の成分で構成されるプラスチック基材のテープに比べ焼却時のCO₂排出量が少なく、脱プラスチックに貢献します。



「フードパッキングテープTM」は手で切ることが可能

製品の廃棄

ニチバン巻心ECOプロジェクト

粘着テープは、形状を保つために巻心に巻きつけられています。そのためテープを使い切ると必ず巻心が残ります。残った巻心はゴミとして捨てられていました。これらの巻心をゴミにしないために、ニチバンでは各種使用済み粘着テープの巻心を回収し、資源として再利用する「巻心ECOプロジェクト」に2010年から取り組んでいます。回収した巻心はダンボールにリサイクルして再利用するとともに、リサイクルによる収益金および当社からの支援金で、環境保全活動として国内外で植樹活動を実施しています。

第10回結果概要

期 間	2019年9月2日～12月27日
回収対象	完全に使い切った各種粘着テープの紙製の巻心(メーカー問わず)
回収した巻心数	416,659個
参加数	692団体(学校、企業、医療施設など)、個人196名
寄 付	リサイクルによる利益金および当社からの支援金で下記活動を支援・実施 <ul style="list-style-type: none"> ●フィリピンでのマングローブ植樹・メンテナンス活動 ●江の川「森のしずく」保全活動

バリューチェーンを支える重要テーマ

コーポレート・ガバナンス

経営体制および内部統制システム[※]を整備・運用し、効率的かつ健全で透明性の高い経営を行い、信頼され期待される企業になるべく、コーポレート・ガバナンスの強化を進めています。取締役会は社外取締役3名を含む8名で構成し、その機能を強化するため経営戦略会、経営執行会議を開催

しています。監査役会は複数名の社外監査役を置き、内部監査室、会計監査人と連携し、経営状態の監査を実施しています。また、法令・定款・社内規定への適合をより確かにするべく、内部統制委員会、倫理違反相談窓口を設置しています。

※「ニチバン内部統制システム」 https://www.nichiban.co.jp/corp/sustainability/governance/#nav_anc4

コンプライアンス

コンプライアンス・マインドを全社員で共有するために「ニチバングループの倫理」[※]を定めています。また、日々の活動の中で実践していくための具体的な手引きとして「ニチバングループ行動ハンドブック」を作成し、配布しています。

「ニチバングループ行動ハンドブック」は年1回見直しを行い、社会情勢や関係法令の変化に随時対応するとともに、教育研修や会議の中で周知を図ることで、グループ全体としてコンプライアンスを徹底しています。

※「ニチバングループの倫理」 https://www.nichiban.co.jp/corp/sustainability/governance/#nav_anc2

リスクマネジメント

大規模災害などの緊急事態の発生に備えて「緊急時対応規則」を定め、「災害時初動マニュアル」を配布するとともに、安否確認システムや帰宅困難者対応など、災害に備える体制を整え訓練を行っています。事業継続計画については、「ニチバングループBCP基本方針」[※]にて基本的な考え

方を明確にしています。また、主要会議体としてBCP委員会を設置し、災害発生時と事業継続・復旧時の各段階で実施すべき行動のマニュアル化、事前の予防処置等の作業を進めています。特に製品の供給責任を強く認識し、可能な限り供給を維持するための準備を行っています。

※「ニチバングループBCP基本方針」 https://www.nichiban.co.jp/corp/sustainability/governance/#nav_anc3

情報セキュリティ

現在社会において、IT(情報技術)は事業戦略に欠かせないものとなっており、情報システムが経営に大きな影響を及ぼすようになってきました。ニチバングループはIT統制を整備し運用することで、情報システムにまつわるリスクを適切に

コントロールし、ITガバナンスを実現します。また、ITセキュリティ方針[※]のもと、一人ひとりが情報セキュリティに対する適切な知識を持ち、誰もが安心して情報技術を扱うことにより、品質と健全性を守ります。

※「ニチバングループITセキュリティ方針」 https://www.nichiban.co.jp/corp/sustainability/sustainability/way_of_thinking/#anc02

ダイバーシティ推進と人財育成

女性活躍推進

ニチバンでは、働き続ける施策は整備されているため「勤続年数に男女の差はないが、「管理職比率に男女の差がある」という課題解決に向けて、第二期行動計画(2019年4月1日～2024年4月1日)を策定しました。

これまで、ポジティブアクションとして、キャリア形成の機会が十分でなかった女性リーダー層に対して「キャリア研修」と「目標設定研修」を実施、また社内の風土醸成を目的として、全管理職へ「多様性マネジメント研修」、役員へ「働き方改革講話」を実施してきました。

今後も、男女にかかわらず誰もが活躍できる職場を目指した取り組みを進めていきます。

障がい者雇用の推進

ニチバンでは、障がい者とともに成長していく職場づくりを進めています。テープ安城工場では2019年より、障がい者のご家族とのコミュニケーション促進を目的に、仕事内容や職場の様子などを掲載した新聞の発行をスタートしました。ご家庭内でも仕事について話をすることで、障がい者本人のモチベーションアップを図り、やりがいを持って働くことができる環境整備に取り組んでいます。また、仕事をする上で必要な知識習得の一環として、危険予知訓練や他社見学を実施しました。

採用活動としては、特別支援学校からのインターンシップ受け入れを2019年も継続し、次年度の採用につなげています。

今後も多様な人財が活躍する企業を目指し、障がい者雇用を総合的に推進していきます。

将来の持続的成長を担う人財育成

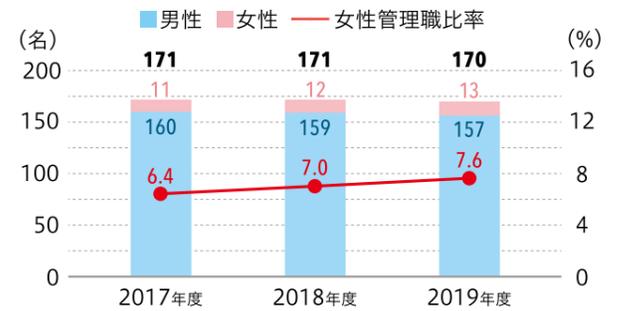
ニチバンでは、専門性と創造性に富み、新たな領域にチャレンジする意欲にあふれた人財の育成を目指す教育研修を実施しています。入社後は、階層別教育を主体にニチバンで働く社会人としての基礎を身につけ、その後は専門教育を中心に、一人ひとりの役割に応じた専門的力を養います。また、共通テーマを社員全員がタイムリーに学べるよう、Eラーニングシステムを活用しています。

海外事業の拡大実現に向け、グローバル人財の育成も推進しています。通信教育や英語テストの費用補助に加え、公募研修を通して互いに切磋琢磨しながら、世界で活躍するための能力向上を図っています。

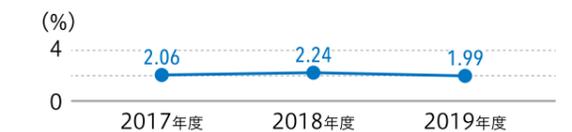
社員の状況

	単位	2017年度	2018年度	2019年度
従業員数		749	754	750
男性	名	557	558	557
女性		192	196	193
平均年齢(在籍人員)		40.2	40.6	40.9
男性	歳	40.5	40.8	41.0
女性		39.2	40.0	40.4
平均勤続年数		16.9	17.0	17.6
男性	年	17.9	18.0	18.5
女性		13.9	14.2	15.0
離職率	%	1.1	1.4	2.4
育児休暇		15	19	24
男性	名	1	4	6
女性		14	15	18
復帰率	%	100	100	100
介護休暇・休職		4	4	1
男性	名	3	3	0
女性		1	1	1
有給休暇取得率	%	43.9	46.5	55.8

管理職の状況



障がい者雇用率(毎年6月時点)



グローバル人財の育成に向けた公募研修

労働安全衛生

雇用環境の整備

ニチバンでは、社員が仕事と家庭生活を両立し、その能力を十分に発揮できるよう雇用環境の整備を行い、社員と会社双方の成長につながるよう支援しています。2018年12月には、東京労働局長より基準適合一般事業主としての認定を受け、3回目の「次世代認定マーク」（愛称：くるみん）を取得しました。引き続き、第5期行動計画（2018～2020年度）を策定し、推進しています。

第5期行動計画目標と対策（期間：2018年4月1日～2021年3月31日）

目標	対策
育児等を行う社員の仕事と家庭生活の両立を支援するための雇用環境の整備	<ul style="list-style-type: none"> 柔軟な働き方（病気と仕事の両立、育児・介護と仕事の両立等）ができる環境の整備 男性社員の育児休職取得促進のための周知啓蒙 女性活躍支援措置の実施
所定外労働時間削減、年休取得促進への施策推進	<ul style="list-style-type: none"> 勤怠データを活用した時間外労働の削減 年休取得率向上に向けた取得促進施策の立案と推進
若年者に対するインターンシップ等の就業体験機会の提供	<ul style="list-style-type: none"> インターンシップを定期実施

ワークライフバランスの推進

ニチバンでは、社員の仕事と生活の調和（ワークライフバランス）推進の一環として、法定の「年次有給休暇」に加え、さまざまな休暇・休職制度を整備しています。私傷病のための「傷病休暇」、子育てのための「育児休職制度」・「育児短時間勤務制度」、家族の介護を目的とした「介護休職制度」・「介護短時間勤務制度」のほか、勤続10年ごとに取得できる「リフレッシュ休暇」、社会貢献活動のための「ボランティア休暇」などを設けています。

労働災害防止・社員の健康管理

ニチバンでは、中央安全衛生委員会を年2回開催し、労働災害の発生内容や健康診断の実施状況について確認しています。労働災害防止の取り組みとして、毎年定期的に安全体感教育を実施しています。「挟まれ」や「巻き込まれ」、「感電」などの擬似体験により痛みを体感することで、危険に対する感受性を向上させることを目的としています。2019年度は、重大な労働災害の発生はありませんでした。引き続き労働災害防止に積極的に取り組み、安全な職場づくりを進めていきます。

Voice

育児休職取得者の声

職場の理解と配慮があり育児休職がとれたことに感謝すると同時に、職場や取引先などあらゆる関係者のサポートがあって初めて、ワークライフバランスが成り立つのだと感じました。自分がサポートを受けた分、今度は自分が他の人をサポートすることで、みんなのワークライフバランスが推進できるとよいと思います。



生産本部 生産・設備統括部 渡辺 創

地域・社会への貢献

障がい者支援

発達に課題を抱える児童に「芸術の楽しさ」や「作品づくりの面白さ」を知ってもらうことを目的に、セロテープ®工作のワークショップを年4回を目標に開催しています。2019年度は、セロテープ®工作監修者であり、世界で唯一のセロテープアート®作家である瀬畑亮氏の指導のもと、支援学級教室に通う小学生を対象とするワークショップのほか、障がい者福祉の啓発と推進を目的とする愛知県安城市主催の「あんぷくまつり」にも参加して、皆さまと一緒に動物や花などの立体物づくりを行いました。



「あんぷくまつり」での、みんなのセロテープ®工作

森の保全活動

日本製紙株式会社の江津工場（島根県江津市）で「セロテープ®」の素材であるセロハンの主原料となる溶解パルプを生産していることから、近郊の江の川流域（島根県邑智郡）に広がる同社の社有林の一部において、「森のしずく」保全活動※1を実施しています。これは植樹や間伐など適切な手入れを行うことで、空気や水をきれいにし、土砂災害を防ぐなど、森の本来の力を高めるための取り組みです。

また「巻心ECOプロジェクト」開始時より、フィリピンでのマングローブ植樹・メンテナンス活動※2を支援しています。これは環境NGO『イカオ・アコ』が1997年から実施しているもので、ネグロス島・ボホール島各地に、これまで約130万本の植樹を行ってきました。ニチバンでは、このうち20万本以上の植樹に協力しています。



フィリピンでのマングローブ植樹（2020年5月実施）

- ※1 国内植樹第3回（2020年5月に開催予定）は、新型コロナウイルスの感染予防のため、2021年に延期しました。
- ※2 現地スタッフの協力のもと、新型コロナウイルスの感染予防に努めながら、2020年5月より徐々に活動を再開しています。

事業所周辺地域とのコミュニケーション活動<タイ>

ニチバンタイランドおよび合併会社ユニオン・タイ・ニチバンは、2019年9月にタイ大塚製薬株式会社主催のCSR活動に参加しました。本活動では、ラチャブリー県のバンブーク小学校への寄付や、寄付金で建築・改修した学校設備の寄贈式、各社の社員による植樹を行ったほか、バスケットボールやサッカーを通じて児童と交流を深めました。今後も事業活動を行う地域社会に貢献できるよう、さまざまな活動を推進していきます。



ニチバングループからは7名の社員が参加

その他の取り組み

小学校への出前授業 https://www.nichiban.co.jp/corp/sustainability/feature/winding_core/

2019年度 事業ハイライト

2019年

4月 **企業活動** 企業メッセージおよびニチバングループの理念を新たに策定

5月 **企業活動** 第2回 島根県江の川「森のしずく」保全活動実施

IR活動 2019年3月期 決算説明会開催

6月 **新製品** 縫合創用ドレッシング「サージフィット™ (SURGIFIT™)」から、内視鏡外科手術などの創に適した新サイズ発売

7月 **新製品** 極低刺激性の医療用テープ「スキナゲート™」シリーズから、粘着性布伸縮包帯「スキナゲート™ガチット」、全方向伸縮性粘着包帯「スキナゲート™ピタット」発売

9月 **新製品** 医療機器による外力低減ケアや皮膚保護に使えるロールタイプのハイドロコロイドテープ「ハイコロール™」発売

新製品 「プチジョア™ マスキングテープ」に、「レトロフラワー」「ミモザ」「あざらし」などの新柄6種をラインアップ

10月 **新製品** 救急絆創膏「ケアリーヴ™」シリーズから、肘・ひざなどの大きなキズに対応する「ケアリーヴ™ 超大判」発売

新製品 絆創膏「あかざれ保護バン™」シリーズから、液体絆創膏「あかざれ保護液体バン™」発売

新製品 救急絆創膏「ケアリーヴ™ キャラクター」シリーズから、「ケアリーヴ™ キャラクター ポムポムプリン」発売

11月 **IR活動** 2020年3月期 第2四半期決算説明会開催

12月 **新製品** 「セロテープ®小巻カッターつきくまっすぐ切れるタイプ>」に新色3種をラインアップ

2020年

2月 **新製品** 誘引結束システム「とめたつ™」から、強結束かつ収穫後に取り外しやすい「とめたつ™ テープ 強結束 あとらくタイプ」発売

新製品 キッチンまわりで便利な「ディアキチ™ ワザアリ™ テープ」シリーズから、一定サイズにカットしてある「ディアキチ™ ワザアリ™ テープ カットタイプ」発売

新製品 ガーゼや包帯などの固定に便利な医療補助用テープ「スキナゲート™ スパット™」発売

新製品 「ナイスタック™」シリーズの「しっかり貼れてはがしやすいタイプ」「強力タイプ」「超強力タイプ」から、細幅タイプ発売

3月 **製品情報** 「ソーシャルプロダクツ・アワード2020」で、「セロテープ®」が大賞を受賞

ニチバン株式会社

〒112-8663 東京都文京区関口二丁目3番3号

TEL. 03-5978-5601 FAX. 03-5978-5620

<https://www.nichiban.co.jp/>

ご意見・ご質問は、下記までお願いいたします。

経営企画室 広報宣伝部

TEL. 03-6386-7190 FAX. 03-6386-7191

®は登録商標、TMは商標です。



本報告書は、「FSC®森林認証紙」、「ベジタブルオイルインキ」を使用し、VOC削減効果の高い「水なし印刷」で印刷しました。